

【重点目標4 重点取組評価シート】

基本方針	県内市町村立図書館、学校図書館等との連携を進め、図書館ネットワークの中核施設としての機能を充実する。				
重点目標4	図書館ネットワークの中核機能の充実				
重点取組	県内市町村立図書館、学校図書館等への支援の充実と人材育成				
1 総合評価	R1年度	5	5: 目標を上回っている 4: 目標に達している 3: 目標の8割以上達している 2: 目標には達していないが、一定の進捗が見られる 1: 目標達成に向けた進捗が見られない	※数値の達成だけでなく総合的な評価とする	
	R2年度	2			
	R3年度				
2 評価理由	<p>連携先の県内市町村立図書館の臨時休館、学校の長期休業期間の短縮等のため、研修会・講座の開催を中止、参加者の減少となった。あわせて、開催した集合研修も定員を半分に減らす等配慮した。その結果、指標の開催回数は目標値の73%、参加者数も59%と目標値を大幅に下回った。以上により、評価を「2」とする。</p> <p>一方、オンライン、配信、メール、書面など様々な工夫を凝らし、研修・講座を開催したため、満足度は4.6と目標値を達成している。</p>				
3 数値目標及び達成状況			R1年度	R2年度	R3年度
投入指標	図書館、類縁機関、学校等を対象にした研修・講座の開催回数	目標値	30回	30回	30回
		実績値	38回	22回	
		達成率	127%	73%	
活動指標	図書館、類縁機関、学校等を対象にした研修・講座の参加者数	目標値	1,470人	1,485人	1,500人
		実績値	1,627人	875人	
		達成率	111%	59%	
満足度	図書館、類縁機関、学校等を対象にした研修・講座の満足度*1	目標値	4.5以上	4.5以上	4.5以上
		実績値	4.7	4.6	
		達成率	達成	達成	
*1 図書館、類縁機関、学校等を対象にした研修・講座の満足度: 5段階評価(参加者対象のアンケートより算出)					
4 行動計画及び取組状況					
	取組内容	行動計画(主な取組)			
4-1	県内市町村立図書館等職員向け研修事業の効果的なプログラムの検討と実施	経験年数に応じた職員研修及び県内図書館のニーズを踏まえたトピック研修について、効果的なプログラムを検討し実施する。			投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・研修企画委員会(書面、4人) ・図書館新任職員研修会(集合2回、145人、満足度=4.7) ・図書館中級職員研修会(オンライン2回、24人、満足度=4.8) ・公共図書館等職員研修会(配信1回、中止1回、197人、満足度=4.5) ・県内公共図書館館長研修会(配信、49人、満足度=4.5) ・県図書館協会専門委員会研修 <ul style="list-style-type: none"> ①参考調査: 非集合・課題演習方式1回、12人、満足度=4.6 ②地域資料: 集合・配信各1回、81人、満足度=4.7 ③障害者サービス: 集合とオンライン併用1回、中止1回、40人、満足度=4.4 ④児童サービス: 集合2回、書面1回、中止1回、163人、満足度=4.0 			
4-2	県内市町村立図書館等の職員への研修機会の提供	県内市町村立図書館等および教育機関を対象にビジネス支援サービスに関する情報提供を行い、職員研修を開催する。 県内における在留外国人数が年々増加傾向にあり、その窓口となる県内市町村立図書館や県立高校図書館等の支援のため、海外資料サービスの広報や情報提供を継続的に実施し、研修を開催する。			投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス・ライブラリアン研修(メール実習形式、4人、満足度=4.5) ・高等学校初任者研修教科別研修(商業)(配信、8月19日、3人、満足度=4.5) ・多文化サービススタート講座(配信、34人、満足度=4.8) ・県職員向けデータベース講座(7月14日、18人、満足度=4.8) 			

4-3	県内市町村立図書館等の健康・医療情報サービス開始・充実の支援	各種レファレンスツールの作成や研修会の実施を通して県内市町村立図書館等における健康・医療情報サービスの開始・充実を支援する。	投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	・健康・医療情報サービス研修会(10月23日、35人、満足度=4.6)	
4-4	学校等の特別支援教育活動への支援	学校、各機関に向けて、県立図書館の障害者サービスの広報に努め、発達障害等に対応した資料(マルチメディアデジター、布絵本)や障害を理解するための資料の紹介を通じ、特別支援教育活動への支援を行う。	投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校教員等の研修会や学校関係者の集会における展示・広報(7回)や、布絵本の貸出(3件、24点)、バリアフリー読書展示セットの貸出(4団体、48点)を行った。 ・新設戸田かけはし高等特別支援学校の図書館運営支援(図書館書架等のレイアウト案作成と選書)、騎西特別支援学校への運営支援(選書、おはなし会の実施) ・『特別支援学校の図書館運営はじめの一歩! ~やってみよう! 本の選書編~』の発行・配布 	
4-5	子ども読書支援センターの学校支援拡充	学校図書館関連講座を計画・実施し、子ども読書支援センターの学校支援を拡充する。	投入指標 活動指標 満足度
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校図書館運営講座(8月6日、12人、満足度=4.9) ・県立図書館活用入門講座(3月24日、11人、満足度=4.6) 	
4-6	県立図書館職員の専門的能力向上のための研修計画・実施	高度で専門的なサービスに携わる司書職員の能力向上のため、有用な外部研修への参加を継続するとともに職場全体のスキルアップを目指して内部研修を実施する。	その他
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・県立2館の館内研修(12回、358人) ・外部研修(ビジネスライブラリアン講習会、文化庁著作権講習会等) 	
4-7	図書館資料搬送システムの整備	図書館協力業務を円滑に実施するための新搬送ルートの検証(2019.10~)および外部書庫連絡便の運行体制の検討・実施を行い、図書館資料搬送システムの整備を進める。	その他
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・資料搬送点数:725,880点(出動回数:503回) ・10月の契約更新に向け、搬送ルートの検討を行った。 	
4-8	県内市町村立図書館等との協力担当者会等の継続開催	県内市町村立図書館等との円滑な協力業務実施のため、協力業務の実務的課題を協議・検討する「図書館協力担当者会」を定期的に開催し、「図書館新任職員研修会」では協力業務のガイダンスを行う。	その他
	実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館新任職員研修会 兼「相互貸借初任者説明会」(10月23日、72人) ・図書館協力担当者会(12月4日、37人) ・高等学校図書館との連絡会議(web会議)(1月28日、4人) 	
5	取組による成果	<ul style="list-style-type: none"> (1) 県内市町村図書館職員向けの研修は、オンラインや配信等工夫して研修会を開催し、満足度は目標を達成することができた。 (2) 「多文化サービススタート講座」は、これからサービスを始める市町村立図書館にとって参考になる研修を行った。 (3) 子ども読書支援センターとして、令和元年度から引き続き、特別支援学校からの依頼に応じた運営支援を行い、事例を積み重ねることができた。 	
6	課題及び次年度取組	<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止を踏まえた、オンライン等の効果的な研修内容・開催方法の検討 <p>[次年度取組予定]</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 基礎的な研修から社会状況に応じた実務まで、図書館運営に効果的なプログラムの企画・実施 (2) 文部科学省委託事業「令和3年度読書バリアフリーに向けた図書館サービス研修」の実施 	